

「OPEN SITE 2018-2019」



すべてのジャンルに創造の場を開いた、アート・プラットフォーム

OPEN SITE は、あらゆるジャンルを対象に、観る人にも、表現する人にもオープンでクリエイティブな場（＝サイト）を目指す公募プログラムです。3回目となる今年度は、国内外から285企画の応募があり、厳正なる審査を経て、展示やパフォーマンス、演劇など9企画を選出しました。TOKAS 推奨企画、教育普及プログラムを加えた合計11企画をトーキョーアーツアンドスペース本郷にて実施します。既存の形式に囚われることなく新しい表現を創造し、社会へと開いていく意欲に満ちた企画にご期待ください。

■ 開催概要

実施期間：Part 1 2018年11月24日（土）～12月24日（月・祝）

<オープニング・トーク>

日 時 | 2018年11月23日（金・祝）16:00-17:30 ※会期前日に開催します。

ゲスト | 毛利嘉孝（社会学者、東京藝術大学大学院国際芸術創造研究科 教授）

Part 2 2019年1月12日（土）～2月11日（月・祝）

<オープニング・トーク>

日 時 | 2019年1月12日（土）16:00-17:30

ゲスト | 畠中 実（NTT インターコミュニケーション・センター[ICC] 主任学芸員）

会 場： トーキョーアーツアンドスペース本郷（東京都文京区本郷2-4-16）

休 館 日： 月曜日（ただし12月24日、1月14日、2月11日は開館）、

年末年始及び展示替え期間（2018年12月25日～2019年1月11日）、1月15日

主 催： トーキョーアーツアンドスペース（公益財団法人東京都歴史文化財団 東京都現代美術館）

ウェブ サイト： <http://www.tokyoartsandspace.jp/>

< お問い合わせ >

〒135-0016 東京都江東区東陽7-3-5 東京都現代美術館リニューアル準備室 3F

トーキョーアーツアンドスペース（公益財団法人東京都歴史文化財団 東京都現代美術館） 広報担当：市川、竹野

TEL：03-5633-6373 FAX：03-5633-6374 E-mail：press@tokyoartsandspace.jp

※トーキョーアーツアンドスペースは、2017年10月1日よりトーキョーワンダーサイトから名称を変更しています。

■ 実施企画／広報用画像 ※この他にも広報用画像をご用意しております。詳しくは広報担当までお問い合わせください。

【Part 1】2018年11月24日（土）～12月24日（月・祝）

展示

本間メイ

「つぎはぎの"言葉"(字 ことば kata eweawea)」

インドネシア語、中国語、日本語をそれぞれ第一言語とする3人の作家たちが、言葉を巡る作品を展示。3作家の出身や母国語は異なりながらも、英語を混ぜたインドネシア語とマレー語で話すなど、言葉をつぎはぎに使うことで意思疎通ができる。多民族国家での体験をもとに、一つの共通語だけでは捉えられない文化やアイデンティティ、史実を探索し、様々な言葉を通じたコミュニケーションの在り方を生成していく。



1. 本間メイ《About a missing woman from Java found in the Buru Island(ブル島で見つかった、ジャワ島出身の行方不明の女性について)》2018 映像

参加アーティスト 本間メイ（日本）、オクイ・ララ（マレーシア）、シャイフル・ガリバルディ（インドネシア）

関連イベント

12/1(土)16:00- オクイ・ララ トーク「Translating Ourselves」

12/8(土)15:00- イベント「Words Exercise」ファシリテーター：滝 朝子

12/22(土)16:00- / 17:00- シャイフル・ガリバルディ ワークショップ「Making New Letters」

プロフィール 1985年生まれ。バンドン（インドネシア）と東京都を拠点に活動。2011年チェルシー芸術大学ファインアーツ科修了。近世から現代にいたるインドネシアと日本の歴史的関係のリサーチを基点に、現在にも通ずる社会・政治的な問題や他国間関係を考察し、映像作品やオブジェ、ドキュメントを組み合わせたインスタレーションを制作している。

////////////////////

参加型公開制作

現像（キオ・グリフィス＋細淵太麻紀）

「photopia/scotopia—東京」現像 Vol.4

現代写真の可能性と、バーチャル化した暗室から浮かぶグローバル論を問う出版プロジェクト。2020年に向けて変容を遂げようとする「東京」をテーマに、参加者が収穫／集積した写真によって、もうひとつの都市のイメージ・マッピングを試みる。展示スペースを「編集室」と位置づけ、プロジェクトの進行、編集を公開で行いながら、全体像をインスタレーションとして空間的に展開する。

関連イベント

12/15(土)16:00- トーク・イベント ゲスト：笠原美智子(石橋財団ブリヂストン美術館 副館長)

プロフィール 細淵太麻紀とキオ・グリフィスによって2017年に結成。神奈川県を拠点に活動。失われた暗室に代わり、印刷、インスタレーション、展示、リサーチ、テキストなど様々な表現を編集していくアクションを「現像」と捉える。



2.

レクチャーパフォーマンス

神里雄大（岡崎藝術座）

「報告、について、パラグアイ、ボリビアと小笠原」

11月30日（金）19:30-（パラグアイ）

12月1日（土）19:30-（ボリビア）

12月2日（日）14:00-（小笠原）

各回 ¥2,000 通し券 ¥4,000／要予約

※高校生以下無料（予約不要）



3. Jejak tabi Exchange 2018 at Yogyakarta より

外部からの訪問者として様々な土地を訪ね、そこで見つけたリアリティから、自分たちの土地を振り返ろうとするレクチャー形式のパフォーマンス。南米における日系移民へのリサーチ、アメリカ占領下で英語が島内言語になっていた小笠原諸島・父島での滞在経験を軸に、日本人、国家、国籍とは何かを問う。

出演者 神里雄大

プロフィール 作家、舞台演出家。1982年ペルー生まれ。東京・川崎を拠点に活動。2005年早稲田大学第一文学部卒業。2018年第62回岸田國士戯曲賞受賞。興味の赴くままに現地に出かけ、そこで見聞きしたことを外部者の視点でレポートする、という方法で、わかりあえない他者との共時性をテーマとした作品を発表している。

////////////////////

ワークショップ(TOKAS 教育普及プログラム)

小沢裕子

「SPEAKERS 言葉の乗り物になった私たちが、そのとき身体で目撃すること」

12月8日（土）13:00- / 17:00-

12月9日（日）13:00- / 17:00-

無料／要予約

4. 「オープンスペース 2014」アーティスト・トーク風景
写真提供：NTT インターコミュニケーション・センター [ICC]

参加者がそれぞれ異なる3つの役割「質問者」、「スピーカー」、「回答者」を体験し、他者の身体を介して会話したり、他者の言葉をただ発するだけのスピーカーになるなど、言葉と身体の関係性をずらすことで新たな感覚を発見するワークショップ。

プロフィール 1984年生まれ。東京都を拠点に活動。2009年武蔵野美術大学大学院造形研究科美術専攻油絵コース修了。「私」の場所をずらし境界を立ち上げるような装置として、映像作品や言葉を使った作品、パフォーマンスなどを行っている。主な展示に「トランス／リアル—非実体的美術の可能性」(gallery αM、東京、2016) など。

レクチャーパフォーマンス

根本しゅん平

「It captures me, It moves me and It's gone」

12月14日（金）19:00-

12月15日（土）14:00- / 19:00-

12月16日（日）14:00-

無料／要予約

ビデオカメラとプロジェクターを使用した根本しゅん平振付作品「It captures me, It moves me and It's gone」を振付家自身が解説をしながら上演するレクチャー形式のパフォーマンス。観客との意見交換やディスカッションを含めながら、本作品への多角的なアプローチを試みる。



5. 「It captures me, It moves me and It's gone」
Photo: Günter Krämer

出演者 根本しゅん平

プロフィール 振付家。日本とヨーロッパを拠点に活動。1999年ローザンヌ国際コンクールでエスポワール賞を受賞、イングリッシュ・ナショナル・バレエスクールに留学。チャンス・オペレーションや、フェーズ・シフティングなどの作曲技法を振付の構成論として再考し、作品を制作、発表している。

協力 城崎国際アートセンター（豊岡市）、Choreographisches Centrum Heidelberg（ハイデルベルク、ドイツ）

////////////////////

レクチャーパフォーマンス

Théâtre Musical Tokyo (TMT)

「米田恵子(1912-1992)の作品と生涯について」

12月21日（金）19:00-

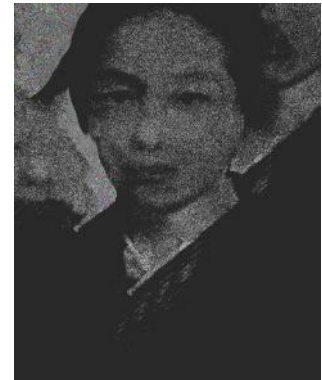
12月22日（土）14:00- / 19:00-

12月23日（日）14:00- / 19:00-

12月24日（月・祝）14:00-

¥2,000／要予約

* 開演1時間前より展示を行います。



6. 米田恵子

戦前に生まれた芸術家、米田恵子（1912-1992）の名と、日本の敗戦を挟んだ激動の時代に彼女の残した特異な作品は、現代までほとんど知られていない。本公演ではレクチャーパフォーマンスの形式で、米田のピアノ作品の演奏及び生涯について解説を行うと同時に、彼女の方法論を現代的に解釈し、新たに制作したサウンド・アートやインスタレーションの展示を行う。

出演者 井上郷子（ピアノ）、岡 千穂（サウンド・アーティスト）、小野龍一（音楽家）、河野聡子（詩人）、坂本光太（チューバ）、灰街 令（作曲家・批評家）、馬場武蔵（指揮者）、樋口鉄平（作曲家）、布施琳太郎（美術家）

プロフィール 2016年10月、坂本光太、馬場武蔵、樋口鉄平の3人の音楽家がベルリンで出会い結成。現メンバーの活動分野は、詩、美術、演劇など多岐にわたり、シアター作品の新たな表現を探求している。今までにベルリン、ダルムシュタット、東京などで公演。

【Part 2】2019年1月12日（土）～2月11日（月・祝）

展示

玉木晶子

「ブレイクタイム No.6」

複数のメディアを混濁させた機構を通して、《いまここ》で見ている観客の経験を揺さぶる映像インスタレーション。仮想的なイメージと、実在するモノを交差したパフォーマンスな状況を、相関的に併置されたスクリーンやディスプレイによって立ち上げていく。観客の眼差し、そのリアリティとは一体何であるかに迫る。



7. 《ブレイクタイム No.3》 2016
パフォーマンス、映像インスタレーション

関連イベント 2/2(土)16:00- トーク・イベント 玉木晶子×伊村靖子（情報科学芸術大学院大学[IAMAS] 講師）

プロフィール 1983年生まれ。東京都を拠点に活動。2016年東京藝術大学大学院映像研究科修了。イメージの持つあやうさについて「見る」という経験から問い直す表現活動を行っている。主な作品に、現実と映像の作家が交差し越境するパフォーマンス・映像インスタレーション《ブレイクタイム No.3》（2016）や、メディアにおける自己言及のパラドクスを作品化したARインスタレーション《これは鏡ではない》（2014）がある。

協力 コ本や honkbooks、時里 充（TOKISATO PLAYER）

////////////////////

展示

MUTEK.JP

「VR Salon : イマーシブ・リアリティーズ」

芸術とテクノロジーの架け橋となる、最先端のデジタル・アートとエレクトロニック・ミュージックによる国際的なフェスティバルを日本にて開催する。仮想現実(VR)と拡張現実(AR)による新しい芸術的実践の試みを探求するインタラクティブ型展示。



8. 参考画像

参加アーティスト Marshmallow Laser Feast（イギリス）、Martin Allais & Nico Casavecchia, Atlas V（アメリカ/フランス）、Felix & Paul（カナダ）、Theodore Ushev & Marc Bertrand（カナダ/フランス）、Bohdon Sayre & Adam Volker（アメリカ）他

関連イベント トークを実施予定

プロフィール デジタル・アートの促進を担う非営利団体。美術、音楽、科学、テクノロジーが交差する創造を探求する革新者とクリエイターのためにプラットフォームを提供する。主な活動歴に「MUTEK Japan 2017」（日本科学未来館、東京）のほか、モントリオール、メキシコシティ、パルセロナ、ブエノスアイレス、ドバイ、サンフランシスコ等でフェスティバルを実施している。

協力 Phi Centre（モントリオール）

助成 アンスティチュ・フランセ日本

パフォーマンス (TOKAS 推奨企画)

コンタクトゴンゾ 「untitled session」

1月19日(土) 18:00-
¥2,000/要予約

殴り合い、ぶつかり合いの中から生まれる即興をベースに、痛みと驚きをもたらす身体表現を繰り広げるアーティストコレクティブ、コンタクトゴンゾによる新作パフォーマンス。ゲストにメディア・アーティストのやんツを迎える。

関連イベント 公演終了後、アフタートークを実施予定
ゲスト：阿部一直 (キュレーター/アートプロデューサー)

プロフィール コンタクトゴンゾ：2006年に垣尾優と塚原悠也により結成。肉体の衝突を起点とする独自の牧歌的崇高論を構築し、即興的なパフォーマンス作品や、映像、写真作品を制作、マガジンの編集なども行う。現メンバーは塚原悠也、三ヶ尻敬悟、松見拓也、NAZEの4名。

やんツ：美術家。1984年神奈川県生まれ。2009年多摩美術大学大学院デザイン専攻情報デザイン研究領域修了。デジタルメディアを基盤に、行為の主体を自律型装置や外的要因に委ねることで人間の身体性を焙り出し、表現の主体性の問う作品を多く制作する。

////////////////////

展 示/ワークショップ

宮田 篤 「びぶんボックス」ことばの店：微分帖

1月24日(木)~1月27日(日)
無料/予約不要

参加者が文章を書き加えながら小さな本を作っていくワークショップ型展示。完成品は《微分帖》として本屋に見立てた空間に展示され、自由に閲覧することができ、またレプリカを持ち帰ることもできる。複数の人によって描かれる様々な物語は、お互いのコミュニケーションの(不)可能性や多様性、ある種の無意味さを示唆すると同時に、日常には欠かすことのできない大切なことを象徴している。

関連イベント 1/26(土) ゲストを交えたワークショップ

プロフィール 美術家。1984年生まれ。東京都を拠点に活動。2009年愛知県立芸術大学大学院美術研究科美術専攻修了。おとなも子どもあそべるぶんがく《微分帖》など、ワークショップやドロージングによって他者との関わりの中にある差異を見つめることを制作の契機にしている。



9. コンタクトゴンゾ

10. やんツ
Photo: 松見拓也11. 《ことばの壁：微分帖》 2015 元トウネ精米店
Photo: 長谷川朋也

12. 《ことばの庭の図書館：微分帖》 2014 刈谷市美術館

演劇

ハイドロプラスト 「領土」

2月 9日(土) 19:00-
2月 10日(日) 14:00- / 19:00-
2月 11日(月・祝) 14:00-
¥2,000/要予約



13. 太田信吾 (作・演出)



川崎麻里子 (出演)



宍 泥美 (出演)

映画監督の太田信吾による演劇ユニット・ハイドロプラストの旗揚げ公演。物語の舞台は東京郊外にある病院の入院病棟の2人部屋。そこに入院した患者の身体、患者を取り巻く人物たちとの関係性の変化を通じ「領土」という抽象的概念を批評的に問い直す。ドイツ・エッセンにある劇場 PACT Zollverein での滞在制作を経て、TOKAS 本郷にて初演。

出演者 川崎麻里子、宍 泥美、森 準人、椎橋綾那、昇 良樹、大山実音

プロフィール 映画監督、テレビディレクター、俳優として活躍してきた太田信吾によって2018年に設立。神奈川県を拠点に活動。あらゆる境界や断絶を演劇というツールで噴射し、社会の多様性を担保する。

協力 PACT Zollverein (エッセン、ドイツ)

助成 アーツコミッション・ヨコハマ

公募概要

募集期間：2018年3月1日(木)～4月13日(金)

応募総数：285企画

審査員：畠中 実 (NTT インターコミュニケーション・センター[ICC] 主任学芸員)
久野敦子 (公益財団法人セゾン文化財団 プログラム・ディレクター)
毛利嘉孝 (社会学者、東京藝術大学大学院国際芸術創造研究科 教授)
近藤由紀 (トーキョーアーツアンドスペース プログラム・ディレクター)

入選企画：9企画

【展示】

本間メイ「つぎはぎの"言葉" (字 ことば kata eweawea)」

現像 (キオ・グリフィス+細淵太麻紀)「photopia/scotopia—東京」現像 Vol.4

玉木晶子「ブレイクタイム No.6」

MUTEK.JP「VR Salon : イマーシブ・リアリティーズ」

【パフォーマンス】

神里雄大 (岡崎藝術座)「報告、について、パラグアイ、ボリビアと小笠原」

Théâtre Musical Tokyo (TMT)「米田恵子(1912-1992)の作品と生涯について」

ハイドロプラスト (太田信吾)「領土」

【OPEN SITE dot】

根本しゅん平「It captures me, It moves me and It's gone」

宮田 篤「びぶんボックス」ことばの店：微分帖

Fax 番号: **03-5633-6374**

Email: **press@tokyoartsandspace.jp**

トーキョーアーツアンドスペース広報担当宛
(10月移転のため9月末まではこちらをご利用ください。)

(ご希望の広報用画像番号にチェックを入れてください)

1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13

掲載媒体名(特集・コーナー名)

種別 TV ラジオ 新聞 フリーペーパー ネット媒体 その他()

掲載/放送予定日 月 日 発売/放送(月号)

貴社名

ご担当者名

Tel

Fax

E-mail(画像はメールでお送りしますので必ずご記入ください)

画像到着希望日 月 日 時頃までに送付

※ご記入いただいた個人情報は、お問い合わせ及びご要望に対応させていただく目的のみ利用させていただきます。

※お急ぎの場合はメールもしくは、お電話でお問い合わせください。

【注意事項】

※画像データは申請時の目的以外での使用はできません。ご掲載や放送以外の目的での写真のご利用はご遠慮ください。また、申請時とは別の媒体での使用、再販等の場合は改めて申請してください。

※画像データは、メールにてお送りします。お手元に届くまで1~2日(土日祝休み)ほど頂戴いたしますのでご了承ください。

※作品画像は全図でご使用いただき、トリミング、文字載せはお控えください。必ず所定のキャプション等を併記してください。

※提供した画像データは、使用后速やかに破棄してください。画像が無断で第三者に利用されることのないよう、Web サイトへのご掲載は、画像にコピーガードや転載不可の明記をしてください。

※情報確認のため、事前に記事原稿をお送りください。

※取材の内容が収録された番組等はビデオ・DVDを一部、印刷物(掲載誌・雑誌)については現物を1部もしくはコピーの場合は3部ご送付ください。Web サイトの場合は、掲載時に URL をお知らせください。

<お問い合わせ> ※校正ゲラ及び掲載誌紙・DVD等は下記宛にお送りください。

〒135-0016 東京都江東区東陽7-3-5 東京都現代美術館リニューアル準備室3F

トーキョーアーツアンドスペース(公益財団法人東京都歴史文化財団 東京都現代美術館)
広報担当: 市川、竹野

TEL: 03-5633-6373 / FAX: 03-5633-6374 / E-mail: press@tokyoartsandspace.jp

※トーキョーアーツアンドスペースは、2017年10月1日よりトーキョーワンダーサイトから名称を変更しています。

Fax 番号: **03-5245-1154**

Email: **press@tokyoartsandspace.jp**

トーキョーアーツアンドスペース広報担当宛
(10月1日からはこちらをご利用ください。)

(ご希望の広報用画像番号にチェックを入れてください)

1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13

掲載媒体名(特集・コーナー名)

種別 TV ラジオ 新聞 フリーペーパー ネット媒体 その他()

掲載/放送予定日 月 日 発売/放送(月号)

貴社名

ご担当者名

Tel

Fax

E-mail(画像はメールでお送りしますので必ずご記入ください)

画像到着希望日 月 日 時頃までに送付

※ご記入いただいた個人情報は、お問い合わせ及びご要望に対応させていただく目的のみ利用させていただきます。

※お急ぎの場合はメールもしくは、お電話でお問い合わせください。

【注意事項】

※画像データは申請時の目的以外での使用はできません。ご掲載や放送以外の目的での写真のご利用はご遠慮ください。また、申請時とは別の媒体での使用、再販等の場合は改めて申請してください。

※画像データは、メールにてお送りします。お手元に届くまで1~2日(土日祝休み)ほど頂戴いたしますのでご了承ください。

※作品画像は全図でご使用いただき、トリミング、文字載せはお控えください。必ず所定のキャプション等を併記してください。

※提供した画像データは、使用后速やかに破棄してください。画像が無断で第三者に利用されることのないよう、Web サイトへのご掲載は、画像にコピーガードや転載不可の明記をしてください。

※情報確認のため、事前に記事原稿をお送りください。

※取材の内容が収録された番組等はビデオ・DVDを一部、印刷物(掲載誌・雑誌)については現物を1部もしくはコピーの場合は3部ご送付ください。Web サイトの場合は、掲載時に URL をお知らせください。

<お問い合わせ> ※校正ゲラ及び掲載誌紙・DVD等は下記宛にお送りください。

〒135-0022 東京都江東区三好4-1-1 東京都現代美術館内

トーキョーアーツアンドスペース(公益財団法人東京都歴史文化財団 東京都現代美術館)

広報担当: 市川、竹野

TEL: 03-5245-1142 / FAX: 03-5245-1154 / E-mail: press@tokyoartsandspace.jp

※トーキョーアーツアンドスペースは、2017年10月1日よりトーキョーワンダーサイトから名称を変更しています。